

## ヨハネによる福音書 2章 1～12節

2<sup>1</sup>三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、イエスの母がそこにいた。<sup>2</sup>イエスも、その弟子たちも婚礼に招かれた。<sup>3</sup>ぶどう酒が足りなくなつたので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。<sup>4</sup>イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」<sup>5</sup>しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。<sup>6</sup>そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあつた。いずれも二ないし三メートル入りのものである。<sup>7</sup>イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁<sup>ふち</sup>まで水を満たした。<sup>8</sup>イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行つた。<sup>9</sup>世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知っていたが、世話役は知らなかつたので、花婿<sup>はなむこ</sup>を呼んで、<sup>10</sup>言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわつたところに劣つたものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取つて置かれました。」<sup>11</sup>イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行つて、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

<sup>12</sup>この後、イエスは母、兄弟、弟子たちとカファルナウムに下つて行き、そこに幾日<sup>いくにち</sup>か滞在された。